

# キ/コも通信

第67号

平成30年10月15日

発行責任者 武田浩文



秋晴れの爽やかな気候となった10月14日の活動日は、ななな…なんと、参加者が過去最低の2名という寂しい結果になりました。

進入路に、雑草が繁茂しているばかりでなく、台風の影響と思われる倒竹が道を遮り、水路からの浸食により道が極端に狭くなっている箇所もあります。

更に、活動フィールドでは、大木が根こそぎ傾木しているではありませんか

掘り起こされた穴を観察すると、根が浅く横に伸びています。植林した山が地滑りを起こすのも、理解できます。

## ～大規模な気象変動が始まったか～

「連日の猛暑」、「記録的な豪雨」、「本州を東から西に迷走する台風」、「過去最高」、「30年に1度」今年の7月は、異常気象を体感させる事態が続き、気象庁も「これまでの経験が通用しない可能性がある」と臨時の記者会見で危機感をあらわにする場面も……

府内においても、7月の平均気温が8観測地点中6地点で過去最高を記録、西日本豪雨の影響もあり、1カ月の降水量も2観測地点で観測史上2位を記録しました。更に、巨大化した多くの台風が発生、大きな爪痕を全国に残しています。

気象変動は、様々な要因が複雑に絡み合っているものの、地球温暖化が大きく影響していることは間違いありません。産業革命前、大気中のCO<sub>2</sub>濃度は280ppm程度であったものが、学生時代には360ppmに上昇し、現在では400ppmを超えていますし、CO<sub>2</sub>より温室効果の高いメタンガスの濃度も上昇しています。

このような中、1億1千万人が極度の干ばつにさらされ、洪水のリスクが2倍になる…。国連気候変動に関する政府間パネル(IPCC)が10月8日に公表した地球温暖化についての特別報告書は、世界の平均気温が産業革命前より1.5度上昇した場合の世界をこう予測しており、温暖化が現状のまま進めば早ければ2030年にも到達すると指摘しています。

更に、「明日の最高気温は東京と名古屋で44度」という地球温暖化への対策を怠った未来を描いた動画「2100年 未来の天気予報」を環境省などが作成し、公表しています。

里山は、生物の多様性を育み、水源涵養や保健・レクリエーション、災害の防止機能のみならず、CO<sub>2</sub>を固定する機能も有しています。活動への参加者は減少傾向ではありますが、「継続は力なり」を合言葉に頑張りますので、今年のような猛暑を2度と味わいたくない…と思っておられる皆様の参加をお待ちしています ( ^\_- ) ☆

# 今回は少し寂しかった～



継続した活動で、シノブの勢いがなくなったかぁ(´・`)



継続した活動の成果として、シノブの勢いが弱まってきましたし、春に植え付けたミカンが葉を虫に食べられつつも、しっかりと根付いておりました。一方、夏季は活動を休止していたこともあり、イノシシが安心して活発に活動しています。

これから、秋が深まってくると、シイタケの収穫も楽しみです。

キノコもクラブの活動は、年間で10日程度の午前中のみとなっています。



## 次回活動日のお知らせ

日程：平成30年11月17日(土)

時間：午前8時30分 市役所正面駐車場の北側又は現地駐車場集合

内容：枯木焼却、シノブや雑草退治



## メンバー募集 キノコもクラブでは常時メンバーを募集しています。

公務員も仕事外の活動に参画し、地域おこしや社会貢献をどんどんやろうじゃないか。この想いを持つ全国の国・地方の公務員が全国で活躍しております。里山からの恵みを楽しみながら、持続可能な活動を目指しています。特に、若くて体力のあるみなさまの積極的な参画をお待ちしております。興味のある方は、木津川市役所 マチオモイ部の武田までご連絡ヨロシク。